

整備段階

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や風の流れに配慮した建物の配置・形状とする。
 - ・省エネルギー機器を設置する。
 - ・エネルギー消費量やCO₂排出量の見える化システムを導入する。
- レベル2
 - ・家電機器等の省エネコントロール機器を導入する。
 - ・太陽光発電システムを建物で利用する。
- レベル3
 - ・コージェネレーションシステムを導入する。
 - ・エネルギーマネジメントシステムやスマートグリッド等を導入する。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

- レベル1
 - ・十分な広さの駐輪場を確保する。
 - ・自転車や歩行者が安全に通行できる空間を確保する。
- レベル2
 - ・電気自動車用充電設備を設置する。
 - ・次世代自動車を利用したカーシェアリングシステムを導入する。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・節水型機器を使用する。
 - ・敷地内等の舗装部分は、透水性舗装等により雨水浸透を行う。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドラインに示されている再生資材を利用する。
 - ・躯体の劣化対策を講じる。
- レベル2
 - ・散水等の雑用水に雨水を利用する。
 - ・長期優良住宅の認定基準を満足する住宅とする。

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・生垣等により緑化する。
 - ・緑化率は30%以上とする。
 - ・生物多様性に配慮した植生を確保する。
- レベル2
 - ・駐車場の駐車面や立体駐車場の屋上や壁面を緑化する。
 - ・雨水等を利用した親水空間を整備する。
- レベル3
 - ・ビオトープネットワークの形成に寄与する緑地を整備する。

CASBEE

- レベル1
 - ・CASBEE福岡Aランクを取得する。
- レベル2
 - ・CASBEE福岡Sランクを取得する。

利用・管理段階

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・ビオトープを適切に管理する。
 - ・身近な緑地を適切に管理する。
- レベル2
 - ・ビオトープを活用した環境意識啓発活動を行う。
 - ・住民参加による敷地内緑地の管理を通して、住民のコミュニティ形成を推進する。

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品の省エネルギー機器を利用する。
 - ・導入した見える化システムを活用して省エネ行動を推進する。
- レベル2
 - ・見える化により各戸で計測したデータを収集・分析し、フィードバックする仕組みの構築・運用を行う。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

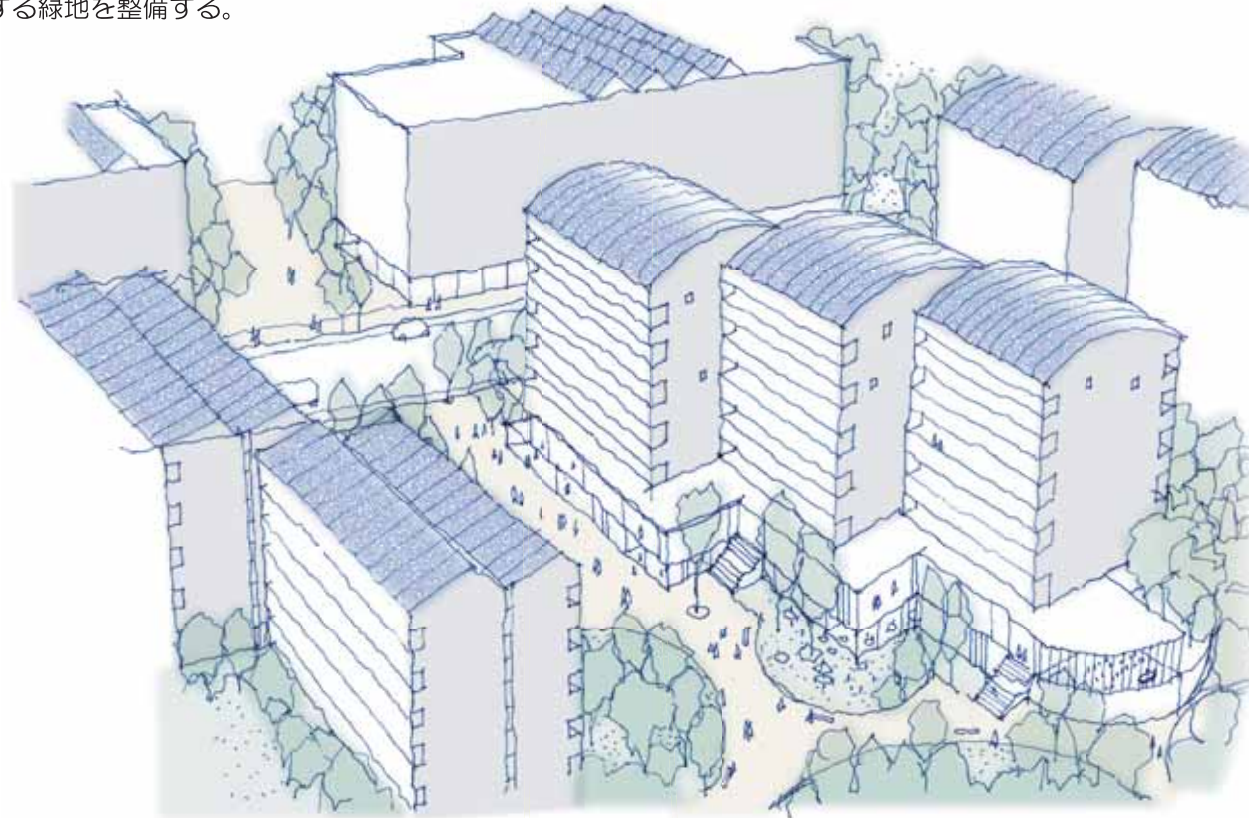
- レベル2
 - ・自家用車として次世代自動車を利用する。
 - ・近距離の移動に超小型モビリティを利用する。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・ごみの排出抑制や古紙等のリサイクル徹底により、ごみを減量化する。
- レベル2
 - ・生ごみの自家処理を行う。
 - ・住民・事業者等の参加による、生ごみの集団堆肥化・有効利用を行う。

目標5：環境に配慮したライフスタイルやワークスタイルを実践し、地域で支える持続可能なまち

- レベル1
 - ・地域コミュニティ活動など、住民が主体となった地域の環境管理を行う。
 - ・環境家計簿を実践する。



整備段階

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や風の流れに配慮した施設の配置・形状とする。
 - ・特定建築物は、省エネルギー基準以上の対策とする。
 - ・省エネルギー機器を設置する。
 - ・エネルギー消費量やCO₂排出量の見える化システムを導入する。
- レベル2
 - ・エネルギー消費量の計測に基づく省エネルギーコントロールシステムを導入する。
 - ・商業ビル、病院、宿泊等ではコージェネレーションシステムを導入する。
 - ・太陽光発電システム、太陽熱利用、風力発電等を導入する。
- レベル3
 - ・電力負荷平準化システムを導入する。
 - ・エネルギーマネジメントシステムやスマートグリッド等を導入する。
 - ・冷房負荷の大きい施設では、冷房排熱の回収・有効利用を行う。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

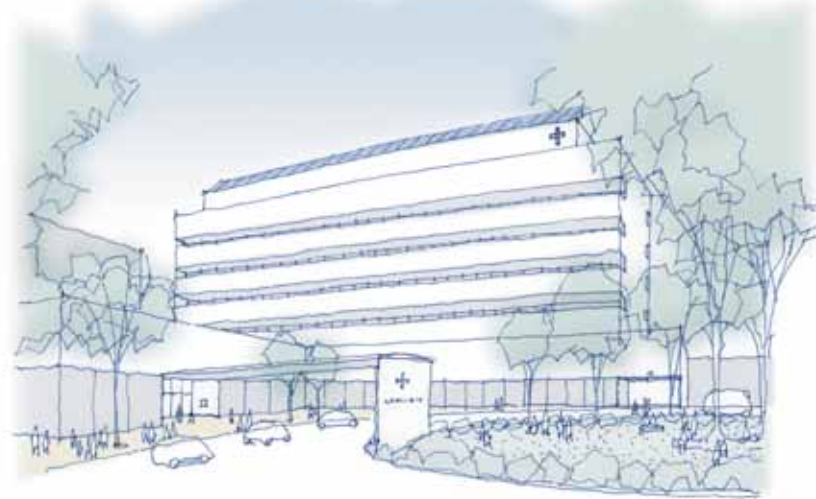
- レベル1
 - ・十分な広さの駐輪場を確保する。
 - ・駐輪場は利用しやすい位置に確保する。
 - ・電気自動車の充電設備の設置や駐車スペースの確保を行う。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・節水型機器を使用する。
 - ・緑化や透水性舗装等により雨水浸透を行う。
 - ・雑用水として、下水再生水を利用する。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドラインに示されている再生資材を利用する。
- レベル2
 - ・建設物の維持管理の容易性、改修・更新への対応性を確保する。
 - ・高耐久材料の使用など躯体の劣化対策を講じる。

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・生垣等により緑化する。
 - ・公開空地を緑化する。
 - ・駐車場の周辺部等を緑化する。
 - ・生物多様性に配慮した植生を確保する。
- レベル2
 - ・公開空地の一部にビオトープを整備する。
 - ・屋上や壁面を緑化する。
 - ・雨水等を利用した親水空間を整備する。



CASBEE

[商業施設]

- レベル1
 - ・CASBEE福岡B+ランクを取得する。
- レベル2
 - ・CASBEE福岡Aランクを取得する。

[業務施設]

- レベル1
 - ・CASBEE福岡Aランクを取得する。
- レベル2
 - ・CASBEE福岡Sランクを取得する。

利用・管理段階

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・ビオトープを適切に管理する。
 - ・身近な緑地を適切に管理する。
- レベル2
 - ・ビオトープを活用した環境意識啓発活動を行う。
 - ・地域住民が自然にふれあい、親しむことを通じた環境意識啓発活動を推進する。



目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や通風などの自然環境を生かした施設利用を行う。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品の省エネルギー機器を利用する。
 - ・導入した見える化システムを活用して省エネ行動を推進する。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

- レベル2
 - ・業務用車両として次世代自動車を利用する。
 - ・次世代自動車による共同集配システムを利用する。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・ごみの排出抑制や古紙等のリサイクル徹底により、ごみを減量化する。
- レベル2
 - ・生ごみの自家処理を行う。
 - ・住民・事業者等の参加による、生ごみの集団堆肥化・有効利用を行う。

目標5：環境に配慮したライフスタイルやワークスタイルを実践し、地域で支える持続可能なまち

- レベル1
 - ・住民が主体となった地域コミュニティ活動に積極的に参加する。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品利用等、グリーン購入制度を導入する。
 - ・エコ・オフィス化を推進する。
- レベル2
 - ・環境会計を導入する。
 - ・ISO14000 またはエコアクション21の認証を取得する。

整備段階

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や風の流れに配慮した施設の配置・形状とする。
 - ・特定建築物は、省エネルギー基準以上の対策とする。
 - ・省エネルギー機器を設置する。
- レベル2
 - ・エネルギー消費量やCO₂排出量の見える化システムを導入する。
 - ・コージェネレーションシステムを導入する。
 - ・太陽光発電システム等を導入する。
- レベル3
 - ・電力負荷平準化システムを導入する。
 - ・エネルギーマネジメントシステムやスマートグリッド等を導入する。
 - ・冷房・冷凍負荷の大きい施設では、冷房・冷凍排熱の回収・有効利用を行う。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

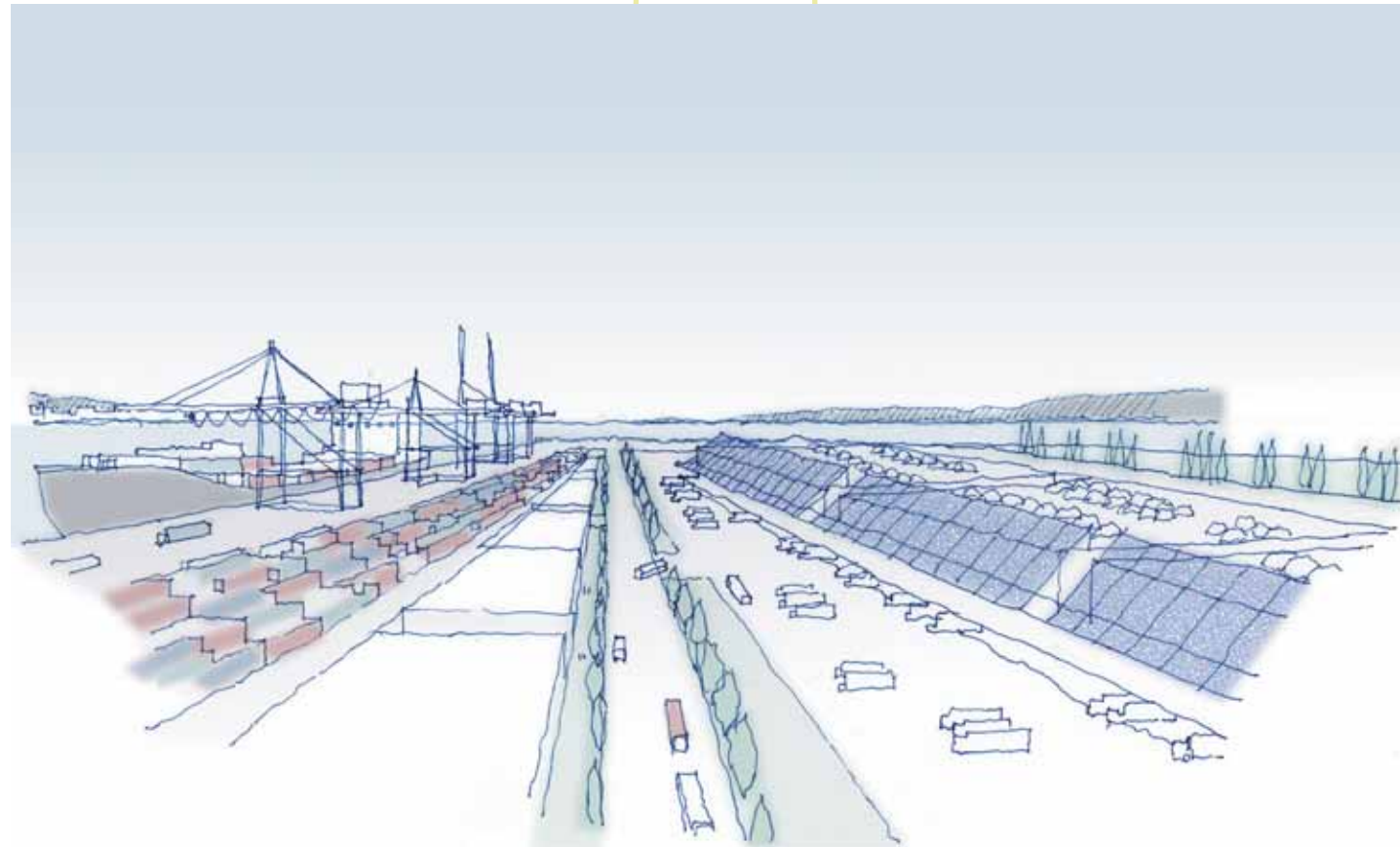
- レベル1
 - ・十分な広さの職員用等の駐輪場を確保する。
- レベル2
 - ・電気自動車の充電設備の設置や専用駐車場等を確保する。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・節水型機器を使用する。
 - ・緑化や透水性舗装等により雨水浸透を行う。
 - ・雑用水として、下水再生水を利用する。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドラインに示されている再生資材を利用する。
- レベル2
 - ・建設物の維持管理の容易性、改修・更新への対応性を確保する。
 - ・高耐久材料の使用など躯体の劣化対策を講じる。

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・道路沿いに塀を設ける場合は植物で覆う。
 - ・主な植栽位置は道路沿いとし、2.0m以上の植栽帯を設ける。
 - ・空地部分は非舗装とする。
 - ・生物多様性に配慮した植生を確保する。
- レベル2
 - ・屋外に駐車場を整備する場合は、可能な部分を緑化する。
 - ・雨水等を利用した親水空間を整備する。



CASBEE

- レベル1
 - ・CASBEE福岡B+ランクを取得する。
- レベル2
 - ・CASBEE福岡Aランクを取得する。

利用・管理段階

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・身近な緑地を適切に管理する。

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や通風などの自然環境を生かした施設利用を行う。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品の省エネルギー機器を利用する。
 - ・導入した見える化システムを活用して省エネ行動を推進する。

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

- レベル2
 - ・業務用車両として次世代自動車を利用する。

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・ごみの排出抑制や古紙等のリサイクル徹底により、ごみを減量化する。
 - ・施設で用いる用品はリサイクル品を利用する。
- レベル2
 - ・ごみの圧縮、梱包等により、ごみを減容化する。

目標5：環境に配慮したライフスタイルやワークスタイルを実践し、地域で支える持続可能なまち

- レベル1
 - ・オフィス町内会などによる地域における環境配慮活動に積極的に参加する。
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品利用等、グリーン購入制度を導入する。
 - ・エコ・オフィス化を推進する。
- レベル2
 - ・環境会計を導入する。
 - ・ISO14000 またはエコアクション 21 の認証を取得する。

整備段階

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や風の流れに配慮した施設の配置・形状とする。〈公・都〉
 - ・特定建築物は、省エネルギー基準以上の対策とする。〈公〉
 - ・省エネルギー機器を設置する。〈公〉
 - ・エネルギー消費量やCO2排出量の見える化システムを導入する。〈公・都〉
 - ・太陽光発電システム、風力発電等を導入する。〈公〉
- レベル2
 - ・コージェネレーションシステムを導入する。〈公〉
 - ・太陽熱利用システムを導入する。〈公〉
 - ・冷房負荷の大きい施設では、冷房排熱の回収・有効利用を行う。〈公〉
 - ・太陽光発電システム、風力発電等を導入する。〈都〉
- レベル3
 - ・エネルギーマネジメントシステムやスマートグリッド等を導入する。〈公・都〉
 - ・バイオマスエネルギーを利用する。〈公・都〉

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

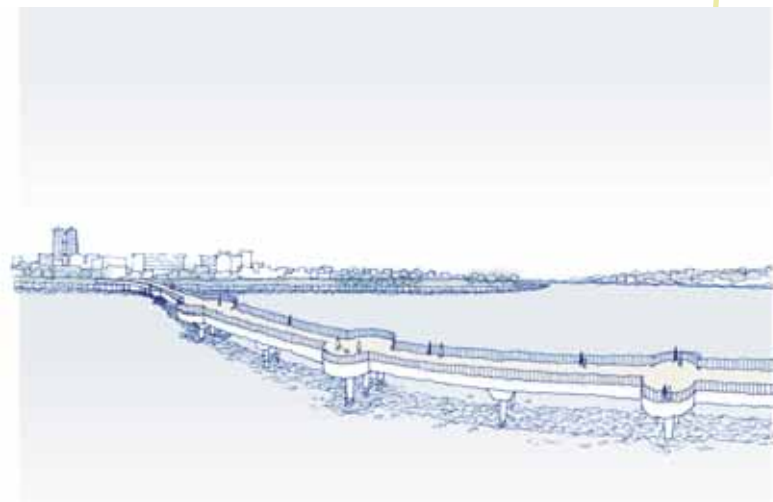
- レベル1
 - ・十分な広さの駐輪場を整備する。〈公・都〉
 - ・低騒音型の道路舗装を行う。〈都〉
- レベル2
 - ・車道・歩道と分離された自転車走行空間を整備する。〈都〉

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・節水型機器を使用する。〈公〉
 - ・雑用水として、下水再生水を利用する。〈公・都〉
 - ・福岡市グリーン購入ガイドラインに示されている再生資材を利用する。〈公・都〉
- レベル2
 - ・舗装部分は透水性舗装とし、雨水浸透を行う。〈都〉
 - ・建設物の維持管理の容易性、改修・更新への対応性を確保する。〈公・都〉
 - ・高耐久材料の使用など躯体の劣化対策を講じる。〈公・都〉

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・学校の中庭等でビオトープ整備を行う。〈公〉
 - ・総合公園内にはまとまったビオトープを整備する。〈都〉
 - ・道路、公園及び緑地沿いでは、緑の連続性を確保する。〈公〉
- レベル2
 - ・歩車道境界を緑化する。〈都〉
 - ・敷地内に雨水等を利用した親水空間を整備する。〈公〉



目標5：環境に配慮したライフスタイルやワークスタイルを実践し、地域で支える持続可能なまち

- レベル1
 - ・公共建築物の用途に応じて、住民・NPO等の活動拠点（スペース）を整備する。〈公〉

CASBEE

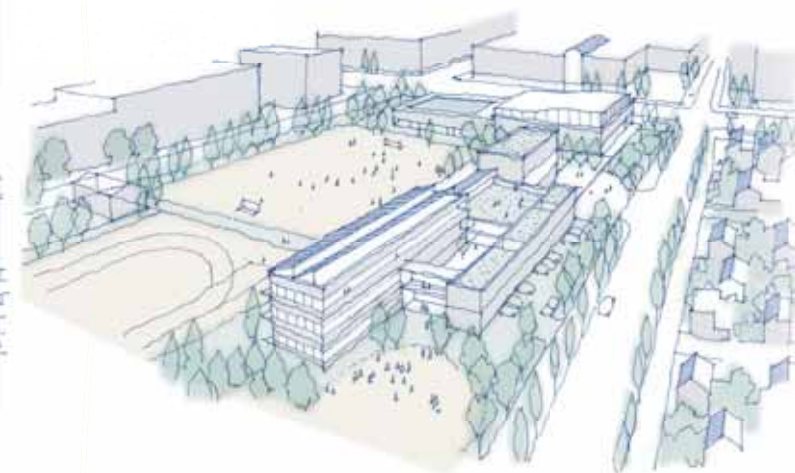
- レベル1
 - ・CASBEE福岡Aランクを取得する。〈公〉
- レベル2
 - ・CASBEE福岡Sランクを取得する。〈公〉

〈公〉は公共建築物、〈都〉は都市基盤施設に適用する対策を示します。

利用・管理段階

目標1：豊かな自然環境と共生するまち

- レベル1
 - ・ビオトープを適切に管理する。〈公・都〉
 - ・身近な緑地を適切に管理する。〈公・都〉
- レベル2
 - ・ビオトープを活用した環境意識啓発活動を行う。〈公・都〉
 - ・地域住民が自然にふれあい、親しむことを通じた環境意識啓発活動を推進する。〈公・都〉



目標5：環境に配慮したライフスタイルやワークスタイルを実践し、地域で支える持続可能なまち

- レベル1
 - ・住民・NPO等への環境関連情報提供を行う。〈公〉
 - ・福岡市グリーン購入ガイドラインに従って、グリーン購入を実施する。〈公・都〉
 - ・エコ・オフィス化を推進する。〈公・都〉
- レベル2
 - ・環境会計を導入する。〈公・都〉
 - ・ISO14000 またはエコアクション21 の認証を取得する。〈公・都〉

目標2：ストップ・ザ・温暖化のまち

- レベル1
 - ・日照や通風などの自然環境を生かした施設利用を行う。〈公・都〉
 - ・福岡市グリーン購入ガイドライン推奨品の省エネルギー機器を利用する。〈公・都〉
 - ・導入した見える化システムを活用して省エネ行動を推進する。〈公・都〉
- レベル2
 - ・省エネルギーに対する意識啓発となるような展示等を行う。〈公〉

目標3：人と環境にやさしい交通を取り入れたまち

- レベル2
 - ・次世代自動車を利用したカーシェアリングシステムを導入する。〈都〉
 - ・公用車は次世代自動車を利用する。〈公〉

目標4：水や資源を生かすまち

- レベル1
 - ・ごみの排出抑制や古紙等のリサイクル徹底により、ごみを減量化する。〈公〉
 - ・施設で用いる用品はリサイクル品利用を原則とする。〈公・都〉
- レベル2
 - ・学校・公民館等、生ごみが多く発生する施設では、自家処理を行う。〈公〉
- レベル3
 - ・住民・事業者等の参加による、生ごみの集団堆肥化・有効利用を支援する。〈公〉